

令和7年度大分市中学生オースティン市派遣事業 報告書



大分市企画部国際課

事業概要

■ 目的

英語圏の姉妹都市であるオースティン市との友好関係を活かした交流事業を通じて、中生徒たちの異なる文化に向き合う姿勢や外国語でのコミュニケーションを図る資質・能力を養い、広い視野を持ち、激動する国際社会で生きていくことができる人材の育成を目指します。

■ 主催

大分市国際都市交流親善（大分市）

■ 派遣先

アメリカ合衆国テキサス州オースティン市

■ 派遣期間

令和8年1月17日（土）～1月27日（火）（9泊11日）

※寒波による復路便の変更により、帰国日が1月29日（木）となりました。

■ 派遣生および随行職員

	氏名	中学校	学年
生徒	後藤 優奈	竹中中学校	2
	式田 大洋	明野中学校	2
	生野 温都	大分大学教育学部附属中学校	2
	竹丸 蘭	大分西中学校	2
	平松 すみれ	大分大学教育学部附属中学校	1
	三股 莉緒	上野ヶ丘中学校	1
引率	櫻井 咲季	大分市企画部国際課	
	多田 直樹	大分市立植田南中学校教諭	

※ 参加時の学年です。

※ 書類審査による一次選考、およびグループディスカッションと個別面接（日本語・英語）による二次選考により6名を選出しました。

■活動スケジュール

日程	発着/滞在地	時間	予定
1/17 (土)	大分市役所集合	8:30	荷揚複合公共施設（大分市役所別館）に集合、出発あいさつ
	荷揚町バス停発	8:49	空港バスで大分空港へ
	大分空港着	10:05	チェックイン手続き
	大分空港発	11:55	国内線（羽田空港へ）JL668 便 飛行時間 1 時間 25 分
	羽田空港着	13:20	出国手続き
	羽田空港発	17:05	国際線（ロサンゼルス空港へ）JL16 便 飛行時間 9 時間 50 分
	——《日付変更線》——		
1/18 (日)	ロサンゼルス空港着	9:55	入国手続き
	ロサンゼルス空港発	13:50	国内線（オースティン空港へ）AA6193 便 飛行時間 2 時間 54 分
	オースティン空港着	18:55	ホストファミリー、姉妹都市委員会による出迎え
	歓迎会	夕食	姉妹都市委員会による歓迎会 終了後は各自ホストファミリー宅へ
1/18 (日)	オースティン		終日ホストファミリーと過ごす
1/19 (祝)	オースティン	午前	語学研修 (TIEC) 初日
		昼食	ホールフーズマーケットでバイキング
		午後	アクティビティ : Austin Duck Adventures に参加
			Book People (本屋) 散策
			South Congress 散策
			Amy's Ice Cream (アイスクリーム)
1/20 (火)	オースティン	午前	語学研修 (TIEC) ※Ann Richards School (以下 ARS) の生徒同行 テキサス州議事堂ツアーハウス
		昼食	Home slice Pizza (ピザ)
		午後	オースティン市図書館訪問 ※ARS 生徒同行
			テキサス大学・Blanton 美術館散策
1/21 (水)	オースティン	午前	語学研修 (TIEC) Ann Richards School を訪問・スクールツアーリアル
		昼食	学内カフェテリアにてランチ
		午後	McCallum High School での学校交流
1/22 (木)	オースティン	午前	語学研修 (TIEC) ※ARS 生徒同行 ブロック・テキサス州立歴史博物館訪問
			裁判所見学 ※ARS 生徒同行 第 126 地方裁判所判事 Aurora Martinez Jones 氏が案内
		昼食	Terry Black's BBQ (テキサスバーベキュー)
		午後	Barton Creek Square モールで買い物 ※ARS 生徒同行

1/23 (金)	オースティン	午前	語学研修 (TIEC) 最終日
		昼食	Dan's Hamburgers (ハンバーガー)
		午後	LASA High School での学校交流
1/24 (土)	オースティン	終日	終日ホストファミリーと過ごす
1/25 (日)	オースティン	終日	ホストファミリーと過ごす 昼：寒波の影響により Zoom での Farewell Party (お別れ会)
1/26 (月)	オースティン	終日	終日ホストファミリーと過ごす
1/27 (火)	オースティン	午前	終日ホストファミリーと過ごす
		午後	ホストファミリーの車で空港近くのホテルに移動
		宿泊	Holiday Inn Express & Suites Austin Airport East by IHG
1/28 (水)	オースティン空港発	6:25	国内線 (ロサンゼルス空港へ) AA6186 便
	ロサンゼルス空港着	8:12	出国手続き
	ロサンゼルス空港発	12:35	国際線 (羽田空港へ) JL15 便
	————《日付変更線》————		
1/29 (木)	羽田空港着	17:35	入国手続き
	羽田空港発	19:55	JL671 便
	大分空港着	21:40	
	大分空港発	22:15	空港バスにて移動
	大分市役所	23:50	大分市役所にて解散

事前説明会、事前研修等開催日程

- 11月29日（土）： 第1回事前学習会 / 第1回事前説明会
- 12月6日（土）： 第2回事前学習会
- 12月20日（土）： 第3回事前学習会 / 第2回事前説明会
- 1月13日（火）： 出発式（大分市長、教育長表敬訪問）
- 2月6日（金）： 帰国報告会（大分市長、教育長表敬訪問）

■ はじめに

大分市では、これまで令和4年度および令和5年度に姉妹都市であるオースティン市への派遣事業を実施し、令和6年度にはオースティン市からの受入事業を行いました。今回は、大分市内の中学6名をオースティン市に派遣し、学校交流やホームステイ体験などを通じて、現地の人々との交流を深めました。

■ 1日目 [令和8年1月17日(土)]

【出発】



空港チェックイン



ロサンゼルス空港到着

朝8時30分に大分市役所別館荷揚複合公共施設に集合し、空港バスにて大分空港へ移動しました。空港では、本派遣事業における航空券手配を行った名鉄観光（株）大分支店様および搭乗航空会社である日本航空（株）様のご配慮により、チェックインは円滑に行われました。手荷物預託後には、ご厚意により空港内バックオフィスを案内いただき、空港運営の様子を見学しました。

羽田空港には定刻どおり到着し、出国手続きも滞りなく完了しました。ロサンゼルス空港到着後は、入国審査の待機時間が長時間に及びましたが、ホームステイプログラムの団体として8名全員がまとめて審査を受けることができ、入国審査は支障なく完了しました。

その後、手荷物受取の際に預け荷物1点について手荷物タグの紛失が判明し、チェックインカウンターでの再手続きに時間を要したこと等により、当初予定していた便への搭乗が困難となりましたが、手荷物タグの再発行と併せて全員を1時間後の便に振り替える対応がなされ、13時50分発AA6193便に搭乗しました。

当初より約1時間遅れての到着となりましたが、オースティン・バーグストロム国際空港において、オースティン・大分姉妹都市委員会（以下、AOSCC）およびホストファミリーの皆様と無事合流することができました。

【歓迎会】

手荷物受取後は、各家庭の車両に分乗し、ウェルカムパーティの会場に移動しました。会場では、AOSCCメンバーおよびホストファミリーによる自己紹介や、生徒への記念品授与等が行われました。

長時間の移動による生徒の疲労を考慮し、短時間での実施とするなどの配慮がなされ、初日の行程を無事終了しました。



空港でのお迎えの様子



歓迎会での集合写真

■ 2日目 [令和8年1月18日(日)]

終日、全員がホストファミリーと充実した1日を過ごすことができました。

■ 3日目 [令和8年1月19日(月・祝)]

【午前：語学研修初日】

アメリカはキング牧師記念日の祝日でしたが、午前中からテキサス・インターナショナル・エデュケーション・コンソーシアム（以下、TIEC）での語学研修が開始しました。

授業は主にクリスティーナ講師が担当し、自己紹介やオースティンに関する紹介、互いの共通点について話し合うなど、オリエンテーションも兼ねた時間となりました。生徒たちは主体的に発表、質問を行なっており、初日にして非常に良い雰囲気の中授業が進んでいきました。



【午後：市内散策】

午後は、オースティンに本社があり、全米に展開している高級スーパーマーケット Whole Foods Market でバイキング形式のランチを楽しみました。

その後は Austin Duck Adventures という水陸両用のバスに乗ってガイドの説明を聞きながらオースティン中心部を観光しました。コロラド川着水後は両岸に立ち並ぶ有名人の豪華な別荘などを眺め、いろいろな意味でアメリカの規模の大きさを目の当たりにしました。

その後、Book People というオースティンの有名な独立系本屋に立ち寄りました。本だけでなく、オースティンのお土産も多数販売しており、各自買い物を楽しみました。最後にサウスコングレス地区にて、オースティンで最古の壁画と言われる「I love you so much.」の前で記念撮影をした後、地元で人気のアイスクリーム屋さん「Amy 's Ice Cream」で好きなフレーバーを食べて月曜日は解散となりました。



ホールフーズマーケット
(オースティンに本社のある全米展開のスーパー)



Austin Duck Adventures
(水陸両用バスでの市内観光)



ブックピープル
(オースティンで有名な書店)



サウスコングレス散策
(様々なお店が立ち並ぶショッピングストリート)

■ 4日目 [令和8年1月20日(火)]

【午前：Ann Richards School の生徒と州議事堂散策】

TIEC のコーディネートにより Ann Richards School (以下、アンリチャーズ) の生徒との交流を開始しました。アンリチャーズは次世代のリーダーとなる女性を育成するために設立された選抜型の女子校で、今回はその中から選抜された 8 人の生徒たちを中心に交流することとなりました。

TIEC で自己紹介をした後、アンリチャーズのスクールバスに乗せてもらい、TIEC からは引率講師も同行して全員でテキサス州議事堂に向かいました。州議事堂では周辺の散策を自由に行なったのち、ガイドとともに議事堂内を散策しました。ガイドの方の説明が非常に面白く、個人で回るだけでは気付かない歴史や裏話をたくさん知ることができました。

昼食は TIEC に戻り、ピザを皆で食べました。当日会ったとは思えないほど仲を深めている様子が伺え、今後の日程についても可能な限りアンリチャーズの生徒に参加してもらえることとなりました。



アンリチャーズ バス乗車



州議事堂見学

【午後：図書館訪問、テキサス大学散策】

午後はアンリチャーズの生徒とともにダウンタウンにあるオースティン市図書館を訪問しました。過去に AOSCC のメンバーで、図書館でエンジニアとして勤務しているブライスさんに案内してもらい、隅々まで見学することができました。

特に、ティーンエイジャーだけが入ることができるエリアでは、楽器やパソコン、ゲームなどの設備が整っており、従来の図書館の枠にとらわれない非常に先進的な取り組みが行われていました。

その後はテキサス大学と、大学内部にあるブラントン美術館を散策しました。テキサス大学は 1883 年創設の公立大学で、学生数が 5 万人を超える全米有数の大規模研究大学です。大学内には噴水や大きな時計台、10 万人収容可能なアメリカンフットボールのスタジアムなど、アメリカの（特に大きなサイズを好むといわれているテキサスの）スケールの大きさに圧倒されました。

訪問時はちょうど学生が授業終わりに移動するタイミングだったこともあり、アメリカの大学生の日常を垣間見ることができました。日本の大学とは違い大学グッズも充実しており、大きなお土産屋さんでは思い思いに買い物を楽しみました。



オースティン市立図書館訪問



テキサス大学散策

■ 5日目 [令和8年1月21日(水)]

【午前：Ann Richards School 訪問】

午前中はアンリチャーズに訪問しました。アンリチャーズスクールは中高一貫の公立女子校で、勉強や文化、芸術、体育活動に幅広く成果を出している学校です。公立校の中でも「マグネットスクール」という選抜試験を通過した生徒のみが通う学校であることや、数年前にリノベーションしたことから、オースティンの中でも特に充実した設備になっており、開放的で居心地の良い作りになっていました。生徒たちはまず小グループに分かれて校内見学を行いました。

その後、歴史のクラスと一緒に受けました。アメリカ合衆国憲法修正条項 (Constitutional Amendments) についての授業で、AI なども駆使してわかりやすく憲法における国民の権利について学ぶ様子を見ることができました。その後、授業内で大分の生徒たちによる大分紹介プレゼンテーションの機会をいただき、発表後は多くの生徒から質問が上がり盛り上りました。当初の予定にはありませんでしたが、生徒たちはしっかりと大分の魅力を紹介してくれました。

昼食は、学校内のカフェテリアでアンリチャーズの生徒と一緒に食べました。



集合写真



授業内での大分紹介プレゼンテーション

【午後：McCallum High School 日本語クラスでの交流】

昼食後、マッカラム高校に移動し、日本語クラスを担当しているアケミ・ボンド先生の案内で校内見学を行いました。芸術系に優れた高校で、学内には劇場や陶芸工房、ダンスレッスン室等、普段見ることのできない学校生活を見学することができました。

その後、日本語クラスの生徒たちとの交流を行いました。まず、大分紹介プレゼンテーションを行い、こちらも活発に質問が出ました。その後、大分の生徒一人に対し2~3人のマッカラムの高校生と、3分間で会話ローテーションを行いました。



大分紹介プレゼンテーション



日本語・英語での交流

■ 6日目 [令和8年1月22日(木)]

【午前：Bullock Texas State History Museum 訪問】

午前中はアンリチャーズの生徒たちとブロック歴史博物館に行きました。テキサスの歴史について学べる博物館で、一階から三階にかけて時代が新しくなっていく展示方法がとても興味深かったです。大分の生徒はアンリチャーズの生徒とペアを組み各自自由に展示を見てまわりました。

博物館には、入口にある巨大なローンスター（ひとつ星）像など、随所にテキサス州民であることへの誇りを感じる造形が施されていました。



入口前のローンスター像



エントランスでの集合写真

その後、アンリチャーズの生徒と引き続きともに行動し、裁判所に行きました。AOSCC メンバーであるオーラ・マルティネス・ジョーンズ判事案内のとも、法廷内や判事の事務所など普段見ることができない部分まで見学することができました。



法廷内見学



ジョーンズ判事との質疑応答タイム



昼食については、アンリチャーズの生徒と別行動とし、大分の生徒はオースティンの有名店であるテリーブラックスを訪れ、本場のテキサスバーベキューを体験しました。低温で半日以上かけてじっくりと調理された牛肉は非常に柔らかく、味付けや調理方法の違いから、日本で一般的に親しまれているバーベキューとの相違を実感する機会となりました。生徒からは、食文化の違いに対する驚きや関心の声が聞かれ、異文化理解を深める一助となりました。

昼食後は、バートン・クリーク・スクエアモールに移動し、アンリチャーズの生徒と再度合流しました。映画館なども入る大きな複合型ショッピングモールで、数時間グループで散策を行いました。

最後、アンリチャーズの生徒と別れる際には大分の生徒より寄せ書きを手渡しました。3日間にわたり密に行動を共にしてきたことから、双方から別れを惜しむ声が聞かれ、短期間であっても仲が深まった様子がうかがえました。



ショッピングモールでの買い物



アンリチャーズの生徒との最終日
大分の生徒からメッセージボードをプレゼント

■ 7日目 [令和8年1月23日(金)]

【寒波によるスケジュール変更に関する協議】

大寒波が帰国便を直撃することが避けられない見込みとなり、随行職員は便の変更も含めて関係各所と今後について協議を行いました。

週末の活動については当初日曜日の昼にオースティン市内のレストランで行う予定だったホストファミリーとのお別れ会を土曜日の昼に対面、もしくは日曜日昼にZoomで行うという方向に絞り、対面で行うかの最終判断は土曜日午前10時時点の天候で判断することで決定しました。

【午前：語学研修最終日】



記念撮影



修了書授与

生徒たちはTIEC最終日にあたり、講師の先生方に対して大分紹介のプレゼンテーションを行いました。非常に興味を持って聞いていただくことができ、クリスティーナ講師、エンジェル講師、プログラムコーディネーターのスティーブン氏からたくさんの質問が出ました。

授業終了後には、クリスティーナ講師から修了証の授与があり、先生と生徒、一人ひとりと握手をして語学研修を終えました。

昼食はDan's Hamburgersに行きました。とてもクラシックなハンバーガー屋ということで、店内は地元の人で賑わっており、警察官の方も昼食に食べに来していました。

価格はアメリカの物価と比べるとリーズナブルですが非常に美味しく、大手のチェーン店ともレストランの高級なハンバーガーとも違う、ローカルの愛する味を堪能することができました。



【午後：LASA 高校日本語クラスでの交流】

昼食後、LASA 高校にて日本語クラスに伺い、日本語を学ぶ生徒たちとの交流を行いました。マッカラム高校同様、大分紹介プレゼンテーションの後、高校生 5~6 人のグループに対して大分の生徒が一人入り、会話ローテーションを楽しみました。英語と日本語が入り乱れての会話で、どちらも生徒も会話を楽しんでいる様子でした。



記念撮影



大分プレゼンテーション



交流の様子 1



交流の様子 2

【午後：J Muzacz 氏の工房でモザイクタイルワークショップ】

姉妹都市提携 35 周年記念事業で大分市の大手公園にモザイクタイル壁画を作成していただいたジェイ・ミューザック氏のタイル工房に伺い、モザイクタイルのワークショップに参加しました。

これまでの思い出話に花を咲かせながら、ハート形やテキサス型等の形になっている土台に各自思い思いに小さなタイルを張り付けて、自分だけのオースティン土産を作成しました。



作業の様子



完成した作品

■ 8日目 [令和8年1月24日(土)]

終日、生徒はホストファミリーと過ごしました。

午後には寒波が到達するとの予報が出ており、姉妹都市委員会と協議の結果、お別れ会は日曜日にZoomで行うこととなりました。

予報どおり夕方以降は気温が氷点下まで低下し、外出を控える状況となりましたが、各家庭においては室内での団らんや会話を通じて、家庭生活や文化に触れる時間を持つことができました。天候不良の中でも、安全面に十分配慮しながら、ホームステイならではの交流が図られました。

■ 9日目 [令和8年1月25日(日)]

氷のような雪が積もっており、ところどころ完全な氷になっていました。中心部は車も少し動いていましたが、姉妹都市委員会やホストファミリーによると住宅街では交通がストップしていたようです。通行止めになっている道路も発表されていました。



昼にはお別れ会をZoomで行いました。全員が滞在中一番印象に残っていること等発表した後、ホストファミリーからのリクエストもあり、オンラインで大分紹介プレゼンテーションを行いました。皆さんからお褒めの言葉をいただき、良いプレゼンの締めくくりになりました。

残念ながら対面での実施はできませんでしたが、それぞれのファミリーと充実した時間を過ごしたことが伺えました。

一方、復路便についてオースティン発の飛行機のキャンセルが直前まで出ず、空港に行くべきかどうか、オースティン側、日本側と協議を重ねました。目的地のロサンゼルスは寒波の影響を逃れているエリアでもあり、予定通り飛ぶ可能性もありましたが、月曜日の午前6時25分の便に乗るには朝4時頃空港に到着する必要があり、早めの判断が必要とされました。

各所との協議の結果、安全に空港に行くルートが確保できないという結論に達し、当初の便には乗らないことを決めました。その後、午前0時前に飛行機の欠航が決まりましたが、当日は生徒の安全を最優先するべく、派遣事業の関係者全員が終日話し合いました。



■ 10日目 [令和8年1月26日(月)]

終日、生徒はホストファミリーと過ごしました。

復路について、旅行会社の方にご尽力いただき、天候の回復を待って28日の早朝便に乗ることとなりました。朝早く空港に到着する必要があるため、前日宿泊の空港ホテルを別途予約し、随行職員については屋に一度気温が上がったタイミングで市内中心部のホテルから空港ホテルに移動して安全性を確認しました。

■ 11日目 [令和8年1月27日 (火)]

午前中、随行職員は安全確認のためホテルから空港までの動線を確認しました。早朝は日陰などでまだ少し路面が凍結していましたが、午後からは気温も上がり、生徒たちが安心してホテルに向かうことができる状態になりました。

チェックイン時間である午後3時以降、各ホストファミリーが生徒をホテルまで送迎してくださいました。ホテル到着後は、それぞれが別れを惜しみ、今後の継続的な交流を約束する様子が見られました。これらの姿から、本事業が生徒同士および家庭間の相互理解を深める機会となったことが伺えました。

■ 12日目 [令和8年1月28日 (水)]

【オースティン空港出発】

午前4時15分にホテルロビーへ集合し、午前4時30分発のシャトルバスにてオースティン・バーグストロム国際空港へ向かいました。

空港到着後は、手荷物のチェックインおよび保安検査を問題なく通過しましたが、当初午前6時33分出発予定であった便について、使用機材到着の遅れにより出発時刻が繰り返し変更され、最終的に午前8時45分発での出発となりました。

【ロサンゼルス空港到着、出発】

空港には約2時間遅れての到着となりましたが、当初から乗継時間を多く確保していたことが幸いし、無事羽田行き12時35分の便に乗ることができました。行きの入国審査はとても厳しかったですが、帰りは出国手続きもなく、乗り場にそのまま向かうことができたのが驚きでした。

■ 13日目 [令和8年1月29日 (木)] ※帰国日

羽田空港到着後は、入国審査および税関手続きを行いました。その後、国内線への乗り継ぎに向けて羽田空港第一ターミナル移動し、機材繰りのための遅延などもありましたが無事に大分空港行きの便に搭乗しました。

体調不良等はありませんでしたがオースティン出発からの度重なる飛行機の遅延や長時間の移動による疲労は見られ、随行職員も含めて大分行きの機内では随行職員も含め、全員休息を取りながら移動しました。

大分空港には22:15に到着し、空港バスにて市役所最寄りである荷揚町バス停で下車しました。バス停では保護者の方々が出迎えてくださり、生徒たちは安堵した様子を見せていました。最後は各自保護者の方の車で自宅に帰り、予定よりも少し長い11泊13日の派遣事業を終えました。



オースティン空港出発



羽田空港到着

随行職員報告

大分市企画部国際課 櫻井 咲季

大分市立植田南中学校 多田 直樹

本事業は令和4年度および令和5年度にオースティン市への中学生派遣事業、令和6年度にはオースティン市からの青少年受入事業を実施しており、今回は3度目となるオースティン市への派遣となりました。本事業の運営においては現地の交流主体であるオースティン・大分姉妹都市委員会の皆様に多大なるご協力をいただいているところですが、今回、随行職員として現地に赴き強く感じたことは、これまでの青少年交流を含め、35年間の姉妹都市交流の積み重ねがさまざまな形で生かされているという点です。

隔年で現地に直接赴き、顔を合わせて交流を行うことで、派遣生徒にとっての学びが深まるだけでなく、交流先の学校や関係団体との信頼関係が一層強固なものとなり、つながりが拡大、深化していく様子を確認することができました。特に学校交流においては、円滑な交流が実現しており、今後オンラインでの交流などを含めた多彩な連携が期待されます。訪問先の生徒たちからは「ぜひ大分に行ってみたい」「これからも交流を続けたい」といった声が多く聞かれ、本事業が青少年の相互理解と関心の醸成に大きく寄与していることを改めて感じました。

派遣された中学生については、短い準備期間の中で素晴らしい大分紹介プレゼンテーションを完成させ、オースティンでの毎日を生き生きと活動している姿が印象的でした。姉妹都市委員会やホストファミリー、交流先の方々から「素晴らしい生徒たちですね」とたびたび言っていただきましたが、それは生徒たちが言葉だけでなく、態度や行動を通してオースティンでの生活や交流を心から楽しんでいる様子が先方にも伝わった結果であると感じています。彼らが様々な場面で大分を紹介し、日本に関心を持つオースティン市民に対して「大分」の魅力を積極的に発信できたことは、本市にとっても大変意義深い成果でした。

滞在中は寒波による帰国便の日程変更という予期しない事態がありましたが、幸い平日の活動には影響なく、土日の活動についても、ホストファミリーの皆さまが工夫を凝らし、充実した内容となるようご対応くださいました。また、変更に伴いホームステイが二泊延泊となった際にも、生徒たちが安心して過ごせるよう、柔軟に受け入れていただきました。

随行職員については、寒波に伴って市職員が復路便を含めた全体のスケジュール調整を行い、引率教諭が生徒の健康管理やケアを行うなど、役割分担を明確にした対応を行うことができました。その結果、旅行会社、航空会社、オースティン・大分姉妹都市委員会、市担当部署等との協議を重ねながら、状況に応じた判断を行うことができたと考えています。保護者の皆さまにも多大なるご理解とご協力をいただき、本事業が多くの方々の支えによって成り立っていることを、改めて実感する機会となりました。

本事業への参加を通じて得たオースティンでのさまざまな体験が、生徒一人一人の将来において大きな財産として残り、学校生活や地域活動、さらには将来の進路選択など、さまざまな場面で生かされていくことを心から期待しています。また、同世代や後進の生徒に対して、自身が海外で得た知見や経験を積極的に発信し、市内の多くの生徒へと還元してもらいたいと考えています。

以上、本事業の実施にあたり、多大なるご支援をいただいたオースティン・大分姉妹都市委員会ならびにホストファミリーの皆様に深く感謝申し上げるとともに、両市の青少年交流が今後も継続的かつ発展的に実施されるよう、関係各所との連携をより一層密に図りながら、引き続き尽力してまいります。